

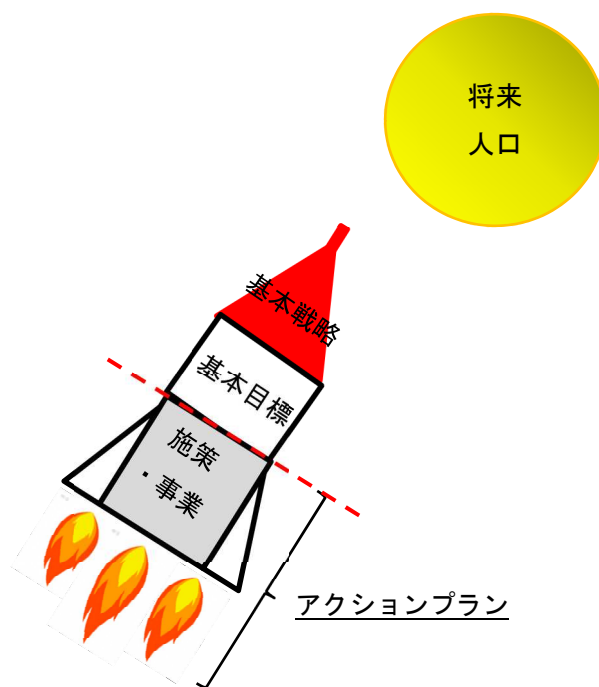
新洲本市総合戦略 アクションプラン (素案)

2020年2月
洲本市

Ⅲ. アクションプラン

「アクションプラン」は、「人口ビジョン」において目標とする将来人口（戦略人口）の実現をめざして取り組む事業等をまとめたものです。

そのため、アクションプランは、「3つの基本戦略」を具現化したもので、原則として、毎年、各施策や取り組みの達成状況等を確認し、効果の出ているものとそうではないものを精査しながら、適宜、追加や変更などの見直しを行います。



アクションプランのチェック&ローリング

	2020年度	2021年度	2022年度
アクションプラン			

あわせて、主な事業や施策の内容、進捗状況などが見やすく、理解しやすいように、レイアウトに配慮し、取り組みの状況や成果などについて理解を深めていただくため、マークやアイコンを用いた説明を行っています。

主な事業・施策の事業表示イメージ

(例) 域学連携事業

K P I (重要業績評価指標)

連携大学を20校に拡大

実施主体



事業成果



◆ K P I (重要業績評価指標)

各施策及び事業の成果・実績を示すもので、**指標とする内容**とその**数値目標**で構成される。

なお、ここでは既存事業及び事業化できたものについて表示している。

◆ 実施主体 施策・事業にかかわる主体・関係者を以下のアイコンで説明。



◆ 事業成果 施策・事業の成果 (実績・評価) を以下のアイコンで説明。

なお、ここでは既存事業及び事業化できたものについて表示している。




【基本戦略1】

洲本の人のおたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む


(1) 都市圏からの移住・定住の促進

① 移住・定住促進事業

事業内容	移住相談会などを通して、きめ細やかな相談対応を行うとともに、各種移住・定住支援制度の効果的な運用により、移住・定住者を増加させる。				
K P I	設定指標	空き家バンク及び空き家改修支援制度を活用した移住・定住者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		17人	20人	40人	60人
実施主体					
事業予算	(64,660千円)				
事業成果					
担当課	魅力創生課				


(2) 「関係人口」の拡充

① 域学連携推進事業


事業内容	さらなる大学との連携など、域学連携の推進を図るため地域との交流を広げ、事業の推進に必要な各種支援を行う。				
K P I	設定指標	地域団体と大学との連携プロジェクト数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		7件	7件	8件	8件
実施主体					
事業予算	(1,820千円)				
事業成果					
担当課	企画課				

(3) 観光資源を生かした交流の促進

① 観光対策事業


事業内容	経済産業省の近代化産業遺産にも認定されている赤レンガ建物群の活用を起点とし、中心市街地及び市内の活性化をめざす。				
K P I	設定指標	総入込客数及びまつり人出数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		1,295千人	1,260千人	1,325千人	1,305千人
実施主体					
事業予算	(27,548千円)				
事業成果					
担当課	商工観光課				

② 高田屋嘉兵衛公園の維持管理


事業内容	五色地域の振興と地域の偉人である高田屋嘉兵衛の顕彰のため、高田屋嘉兵衛公園を適正に管理し、あわせて、交流人口につなげていく。				
K P I	設定指標	高田屋顕彰館・歴史文化資料館の入館者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		3,689人 (※12月末現在)	5,500人	6,000人	6,500人
実施主体					
事業予算	(65,322千円)				
事業成果					
担当課	農政課				


(4) まちの魅力の効果的な情報発信


① 洲本市地域おこし協力隊情報発信事業

事業内容	洲本市地域おこし協力隊の活動や地域の情報をフェイスブックなどSNSで発信することで、洲本市の魅力を伝え、新たなファンを獲得する。				
K P I	設定指標	洲本市地域おこし協力隊フェイスブックページのフォロワー数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		1,875人	1,900人	1,950人	2,000人
実施主体					
事業予算	(0 千円)				
事業成果					
担当課	企画課				

② 洲本CATV施設更新事業


事業内容	地上デジタルテレビの難視聴地域並びに民間事業者による情報通信系サービスの未提供地域を抱える中、当該施設の整備により、市内全域において途切れのない情報通信系サービス及びテレビ放送系サービスの提供を行うことができ、デジタルデバインド（情報格差）の解消つなげる。				
K P I	設定指標	①CATV加入者数 ②インターネット加入者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		17,710人 3,045人	17,800人 3,065人	17,800人 3,085人	17,800人 3,100人
実施主体					
事業予算	(700,000 千円)				
事業成果					
担当課	広報情報課				

③ 広報すもとSNS（インスタグラム）発信事業					
事業内容	広報紙の発信媒体を増やすことで、市内域外の読者を増やす。特にスマートフォンを多用する若年層への情報発信を強化することで、本市の行政情報、イベント等情報への関心を高めながら、交流人口の増加につなげる。				
K P I	設定指標	インスタグラムのフォロー（フォロワー）数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		250人	1,000人	1,500人	2,000人
実施主体					
事業予算	(0千円)				
事業成果					
担当課	広報情報課				


④ 地域のいいとこ発信事業					
事業内容	芸人の表現力や発信力、また、写真作品の募集の機会を活用し、洲本市の魅力を島内外へ発信し、交流人口の増加につなげる。				
K P I	設定指標	①すもとのいいとこ発信事業：SNS フォロワー数 ②フォトコンテスト：応募者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		298人 39人	300人 45人	350人 50人	400人 55人
実施主体					
事業予算	(1,942千円)				
事業成果					
担当課	五色総合事務所地域生活課				


(5) 教育・スポーツの振興


① すもとっ子∞塾事業


事業内容	中学校への出前講座や京都大学へのキャンパスツアーなど大学生や幅広い分野の有識者からの学びを通して心豊かな人間性を育てる。				
K P I	設定指標	中学生と大学生との交流機会（出前講座）の開催校数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		3校	5校	5校	5校
実施主体					
事業予算	(2,000千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				


② すもとっ子MANABIプロジェクト事業

事業内容	地域の高齢者等が培った豊かな経験や知恵、技術を子どもたちに伝え、子どもたちの社会性や豊かな情操を育み、子どもの健全育成を図る。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		650人	700人	750人	800人
実施主体					
事業予算	(1,000千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				

③ 科学のふしぎ三島教室事業					
事業内容	郷土の発明家「三島徳七博士」と縁のある東京工業大学公認サークル「東工大 Science Techno」が講師を務め、市内の小学生を対象に工作教室を通して、子どもたちが科学に触れ、興味を持つ機会をつくとともに、未来の社会に貢献できる想像力豊かな人材を育成する。また、教室を通して子どもたちの郷土愛を深める。				
K P I	設定指標	参加者のアンケート満足度			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		92%	92%	92%	92%
実施主体	 住民				
事業予算	(950 千円)				
事業成果					
担当課	五色総合事務所地域生活課				

④ アスリートネットワークプロジェクト					
事業内容	トップアスリートとの交流を通して、子どもたちに夢と希望、そして本物の感動を伝え、子どもの運動能力の向上並びに社会適応能力を高める。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		500 人	600 人	800 人	1,000 人
実施主体	 市 住民 事業者 学生				
事業予算	(2,000 千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				

⑤ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西オープン競技「あわじ島ウォーク」					
事業内容	あわじ島ウォークの開催を成功させるとともに、開催後も継続開催を目指し、スポーツ振興並びに交流人口増を図り、地域の活性化に寄与する。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		200 人	400 人	800 人	1,000 人
実施主体					
事業予算	(1,500 千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				


⑥ あわじ島スポーツフェスティバル					
事業内容	全国から参加できる本市独自のスポーツイベントを開催し、本市をPRするとともに、スポーツ交流を通し交流人口増と地域経済の活性化を図る。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		600 人	700 人	800 人	900 人
実施主体					
事業予算	(2,000 千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				

【基本戦略2】


歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る

(1) 妊娠・出産・子育ての支援

① 子育てにやさしいまちづくり事業


事業内容	子育てハンドブックによる支援のほか、妊婦等へのタクシー助成のほか、子育てを支援する協賛企業や店舗を拡充させ、子育て家庭をまち全体で応援する環境を整備する。				
K P I	設定指標	子育て支援協賛店舗数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		35 店	50 店	60 店	70 店
実施主体					
事業予算	(7,090 千円)				
事業成果					
担当課	子ども子育て課				

② 地域子育て支援拠点事業（にこにこひろば）

事業内容	育児グループの育成支援や子育てに関する講座を通して情報提供を行い、子育て中の親のつながり、仲間づくりなどネットワークを構築する。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		9,800 人	10,000 人	10,000 人	10,000 人
実施主体					
事業予算	(2,851 千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				


(2) 健康・福祉・医療の支援


① 健康のまちづくり事業


事業内容	乳幼児期から切れ目のなく、ライフステージに応じた健康づくり、健診の受診、食育、自殺予防などの推進を図り、市民が生涯にわたり健やかに安心して暮らせるまちづくりを進める。				
K P I	設定指標	乳幼児健康診査受診率など（歯科検診、がん検診など含む）			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		4か月 95.4% 1歳6か月 97.2% 3歳 95.2%	95%以上	95%以上	95%以上
実施主体					
事業予算	(78,184 千円)				
事業成果					
担当課	健康増進課				

(3) 元気な高齢者の活躍の機会の推進


① すもとっ子MANABIプロジェクト事業【再掲】


事業内容	地域の高齢者等が培った豊かな経験や知恵、技術を子どもたちに伝え、子どもたちの社会性や豊かな情操を育み、子どもの健全育成を図る。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		650人	700人	750人	800人
実施主体					
事業予算	(1,000 千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				


② (続) おやじプロジェクト事業					
事業内容	中年期・壮年期の男性が生きる知恵や技を習得しながら、つながりを構築するとともに、青少年の健全育成及び地域の活性化に寄与する。				
K P I	設定指標	おやじを軸とした参加世帯数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		65 世帯	70 世帯	75 世帯	80 世帯
実施主体					
事業予算	(500 千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				

③ GENKI すもっとサポーター養成事業					
事業内容	超高齢化社会において介護予防の意識も高まるなか、健康寿命も伸びており、元気な高齢者や、いつまでも社会の役に立ちたいと考える高齢者も多いため、そのような人材を健康や住まいに関する講座を通じて地域社会の「サポーター」として育成し、地域のニーズにつなげていく。				
K P I	設定指標	サポーター養成講座への参加者数 (年間延べ人数)			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		※2020 年からの実施事業につき、現状設定なし	120 人	150 人	180 人
実施主体					
事業予算	(80 千円)				
事業成果					
担当課	介護福祉課				


(4) 歴史・文化の保存と活用によるまちづくりの推進


① 歴史文化遺産活性化事業					
事業内容	市内の歴史文化遺産をつないだまち歩きイベントや、銅鐸・銅鏡鑄造体験等を通して、歴史を身近に感じ、愛着を持ってもらうことで郷土愛の醸成のほか、歴史文化遺産を通して本市の魅力を内外へ発信する。				
K P I	設定指標	参加者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		150人	165人	180人	200人
実施主体					
事業予算	(1,000千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				


② 歴史文化遺産保存事業					
事業内容	洲本城址石垣の修復、旧益習館庭園の整備のほか、その他歴史文化遺産を適正に保存し、淡路文化史料館の口座や展示につなげ、広く市民に伝えることで、歴史を身近に感じ、郷土愛を育む。				
K P I	設定指標	淡路文化史料館の入館者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		5,000人	5,250人	5,500人	5,750人
実施主体					
事業予算	(1,916千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				

③ 図書館市民まつり事業					
事業内容	2015年に全国の図書館3,300館の中から、「一度は訪ねて読書したい美しい図書館」の西日本部門で第3位に選ばれた洲本図書館は、旧鐘紡紡績工場跡の赤レンガが印象的な図書館で、全国的に知名度も高く、この歴史的な地域資源を活用し、地域住民の交流のほか、島外との交流の促進の機会の増大を図る。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		5,000人	5,500人	6,000人	6,500人
実施主体					
事業予算	(0千円)				
事業成果					
担当課	生涯学習課				

(5) コミュニティ組織、中間支援団体の育成と支援


① つながり基金助成事業					
事業内容	地域における交流イベントや防災減災に関する取組、また、集会施設の改修やだんじりの改修などについて支援し、市民、事業者、各種団体の自主的な活動の拡大を図り、地域コミュニティの維持並びに活性化を推進する。				
K P I	設定指標	つながり基金活用による自主活動件数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		38件	38件	39件	40件
実施主体					
事業予算	(25,000千円)				
事業成果					
担当課	企画課				

② 防災に携わる組織・人材の強化支援事業					
事業内容	自主防災組織（町内会）等への学習会、防災訓練の実施のほか、消防団員の確保、消防団施設等の整備を通して、安全・安心なまちづくりを担う組織や人材の強化を図る。				
K P I	設定指標	①消防団員数の維持（R2年1月1日実数10人減以内） ②防災訓練、防災学習会（出前講座）の実施地域数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		943人 72地域	933人以上 82地域	933人以上 92地域	933人以上 102地域
実施主体					
事業予算	(4,134千円)				
事業成果					
担当課	消防防災課				


③ 防犯・交通安全知識啓発事業					
事業内容	交通安全協会、防犯協会、防犯グループ等の防犯・交通安全に取り組む組織活動を支援するとともに、幼児や児童、高齢者に対する交通安全教室の開催や広報活動を通して、安全・安心なまちづくりを支える人を支援する。				
K P I	設定指標	防犯・交通安全知識の啓蒙・啓発・広報活動等の件数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		246回	250回	260回	270回
実施主体					
事業予算	(7,714千円)				
事業成果					
担当課	消防防災課				

(6) 防災・減災、安全・安心なまちづくり基盤の整備


① 防災に携わる組織・人材の強化支援事業【再掲】


事業内容	自主防災組織（町内会）等への学習会、防災訓練の実施のほか、消防団員の確保、消防団施設等の整備を通して、安全・安心なまちづくりを担う組織や人材の強化を図る。				
K P I	設定指標	①消防団員数の維持（R2年1月1日実数10人減以内） ②防災訓練、防災学習会（出前講座）の実施地域数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		943人 72地域	933人以上 82地域	933人以上 92地域	933人以上 102地域
実施主体					
事業予算	(4,134千円)				
事業成果					
担当課	消防防災課				

② 防犯・交通安全知識啓発事業【再掲】


事業内容	交通安全協会、防犯協会、防犯グループ等の防犯・交通安全に取り組む組織活動を支援するとともに、幼児や児童、高齢者に対する交通安全教室の開催や広報活動を通して、安全・安心なまちづくりを支える人を支援する。				
K P I	設定指標	防犯・交通安全知識の啓蒙・啓発・広報活動等の件数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		246回	250回	260回	270回
実施主体					
事業予算	(7,714千円)				
事業成果					
担当課	消防防災課				

③ ため池整備事業					
事業内容	未整備のまま老朽化が進む危険なため池を改修し、下流域の集落等の安全・安心な暮らしを確保する。				
K P I	設定指標	ため池改修個所数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		21 個所	26 個所	28 個所	30 個所
実施主体					
事業予算	(211,542 千円)				
事業成果					
担当課	農地整備課				


④ 耐震化促進事業					
事業内容	簡易耐震診断の結果、耐震性能に不足がある場合、耐震計画策定事業、耐震改修事業のほか、防災ベッドの購入補助など多様な耐震化支援策を通して、耐震化の向上を図り、大地震による被害から身を守る。				
K P I	設定指標	耐震化戸数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		5 戸	5 戸	5 戸	5 戸
実施主体					
事業予算	(28,514 千円)				
事業成果					
担当課	都市計画課				

⑤ 老朽危険空き家除却支援事業					
事業内容	危険空き家について地域からの相談、情報提供を受け、市で実態調査を行い、倒壊等の周辺への安全確保上問題の大きい危険空き家のうち、所有者が解体する意思があり、また、早急に除却する必要性が高いと認められるものについて、その所有者の解体除去の費用の一部を支援する。				
K P I	設定指標	危険空き家の除去軒数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		5軒	5軒	5軒	5軒
実施主体					
事業予算	(9,598千円)				
事業成果					
担当課	都市計画課				

(7) 環境意識の向上の推進


① 洲本市 25%ごみ減量化作戦					
事業内容	ごみの減量化の学習、PRのほか、ワームコンポストの設置普及や各ごみ減量化機器等の助成を進め、家庭ごみの減量化を図るとともに、ごみ回収ルートの効率化、生ごみ水分量の削減対策を講じながら、市民のごみ減量化に対する意識の向上と環境にやさしいまちづくりを進める。				
K P I	設定指標	市民ひとりが1日あたりに排出する家庭ごみの量を県平均値以下に減少させる			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		542.0g/人日	528.0g/人日	514.0g/人日	500.0g/人日
実施主体					
事業予算	(1,369千円)				
事業成果					
担当課	生活環境課				

② 環境学習推進事業


事業内容	市内小学生とその保護者を対象とした環境学習会のほか、著名人を招き環境を題材とした講演会を実施し、循環型社会の形成や地球環境問題をきちんと理解し、その実現に向けた自主的な行動が取れる人を育成する。				
K P I	設定指標	参加人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		600 人	600 人	600 人	600 人
実施主体					
事業予算	(2,000 千円)				
事業成果					
担当課	生活環境課				

(8) 淡路島全体で考える未来の公共交通システムの構築と交通ネットワークの充実

① 暮らしと交流を支える持続可能な公共交通サービス推進事業

事業内容	路線バスやコミバスなど地域公共交通網の維持、確保並びに充実を図ることで、市民の暮らしの充実のほか、観光客の利便性の向上を図りながら持続可能な公共交通を確立する。				
K P I	設定指標	地域公共交通（路線バス・コミバス）利用者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		517 千人	517 千人	517 千人	517 千人
実施主体					
事業予算	(87,427 千円)				
事業成果					
担当課	企画課				

(9) 市域を超えた広域連携による新たな行政運営の推進

① 淡路島定住自立圏の推進					
事業内容	本市と淡路市、南あわじ市との連携、協力により、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備し、また、各種サービスを相互運用などすることにより、圏域全体の活性化を図ります。				
K P I	設定指標	定住自立圏構想対象実施事業数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		17事業	17事業	18事業	18事業
実施主体					
事業予算	(250,000 千円 (見込み))				
事業成果					
担当課	企画課				

【基本戦略3】

女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる


(1) 農業生産基盤の整備

① 農業基盤整備事業


事業内容	高齢化、後継者不足により農業経営が厳しい状況の中、ほ場整備により区画整理した農地で省力化、効率化による収益性の向上を図り、持続可能な農業の確立を目指す。				
K P I	設定指標	新規整備地区数（地形図作成レベル）			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		0 地区	0 地区	0 地区	1 地区
実施主体					
事業予算	(113,045 千円)				
事業成果					
担当課	農地整備課				

② ため池整備事業【再掲】

事業内容	災害に強いため池の整備を進め、安全・安心な農業環境を整えながら、地域農業の安定した生産活動基盤を構築する。				
K P I	設定指標	新規整備地区数（地形図作成レベル）			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		0 地区	0 地区	0 地区	1 地区
実施主体					
事業予算	(211,542 千円)				
事業成果					
担当課	農地整備課				


③ 広域農道整備事業					
事業内容	南淡路地域の農産物の流通ルートを確保し、農業経営効率の向上を図り、農業生産基盤を整えとともに、整備による周辺地域の活性化を図る。				
K P I	設定指標	農道供用率			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		51%	51%	74%	100%
実施主体					
事業予算	(23,692 千円)				
事業成果					
担当課	農地整備課				

(2) 新規就農者支援による担い手の確保

① 新規就農者や集落営農組織を含む農業の担い手確保事業					
事業内容	農業従事者の減少の一因となっている、後継者、担い手不足について、就農希望者の支援やマッチングなどの対策を行い、本市の農業の維持及び発展を図る。				
K P I	設定指標	農業体験者及び農業研修生の受け入れ人数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		8人 (※1月末現在)	5人	5人	5人
実施主体					
事業予算	(28,109 千円)				
事業成果					
担当課	農政課				


(3) 畜産振興の推進

① 畜産業の振興

事業内容	本市の農業の中で重要な位置を占めている肉用牛生産及び酪農に関して、繁殖用雌子牛の導入等への補助のほか、増頭による畜産経営の拡大を図るため牛舎の増改築への支援等を行いながら、本市の畜産業の維持並びに発展を促進させる。				
K P I	設定指標	一戸当たりの繁殖雌牛飼養頭数			
	設定数値	基準値 (2019) <small>(※2018年度時点)</small>	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		8.4頭/戸	9.5頭/戸	10.0頭/戸	10.5頭/戸
実施主体					
事業予算	(24,742千円)				
事業成果					
担当課	農政課				


(4) 水産業の振興

① 鳥飼漁港物揚場及び漁港道路整備事業


事業内容	鳥飼漁港において、漁業活動に支障があった漁港物揚場及び漁港道路を整備し改善を図ることで、漁業者（組合員）の減少と漁業協同組合の経営の向上を図る。				
K P I	設定指標	五色町漁業協同組合員の漁港に係る満足度（アンケート調査） ※正組合員の満足している人数/正組合員数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		30%	30%	30%	90%
実施主体					
事業予算	(19,000千円)				
事業成果					
担当課	林務水産課				

(5) 地域企業への就業促進

① 元気な商店街づくり事業


事業内容	商店街の統一した景観形成や共同設備の整備を支援することを通して、商店街に活気を生み出し、商店街を歩きかう人の流れを増大させ、その効果により商業の振興を図りながら、さらには新たな雇用につなげていくことを目的とする。				
K P I	設定指標	商店街でのイベント回数（集客数）			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		5回 (3万人)	5回 (3万人)	5回 (3万人)	5回 (3万人)
実施主体					
事業予算	(8,450千円)				
事業成果					
担当課	商工観光課				

② 御食国プロジェクト推進事業


事業内容	淡路島ぬーどる・島スイーツ・島カフェなどの振興を図る「御食国プロジェクト」を推進するため、プロジェクトへの参加店舗の拡大を図り、島内外からの人を引き付け、もってその効果により商業の振興を図りながら、さらには新たな雇用につなげる。				
K P I	設定指標	御食国プロジェクトの参加店舗数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		63店舗	65店舗	66店舗	67店舗
実施主体					
事業予算	(1,000千円)				
事業成果					
担当課	商工観光課				

(6) 起業・創業の支援


① 起業支援事業

事業内容	本市で起業を目指す女性や若者に対して、起業時または起業後に必要となる経費の一部を補助し、スムーズに起業の準備、開設が運ぶように支援することで、市内における起業環境を整備し、地域経済の活性化につなげていく。				
K P I	設定指標	起業・創業者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		9人	9人	10人	10人
実施主体					
事業予算	(6,400千円)				
事業成果					
担当課	商工観光課				

② 域学連携を通じた起業・創業支援

事業内容	本市と島外の大学により長年取り組んでいる域学連携の成果の社会実装を図るため、域学連携で得た知見や成果を起業や創業というかたちでアウトプットし地域経済に貢献する。また、その取り組みにより起業や創業を市民などに身近なものと感じていただき、市民などの起業・創業へのチャレンジマインドを誘発させる。				
K P I	設定指標	域学連携の成果を生かした起業・創業者数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		3件	3件	4件	4件
実施主体					
事業予算	(500千円)				
事業成果					
担当課	企画課				

(7) 企業誘致の促進

① 企業立地促進事業					
事業内容	本市に進出を検討している企業に対して誘致活動を展開し、市有企業用地への進出を実現させ、地域産業の振興のほか、雇用機会の増大を図る。				
K P I	設定指標	市有企業用地の売却成約件数			
	設定数値	基準値 (2019)	目標値 (2020)	目標値 (2021)	目標値 (2022)
		0件	1件	1件	1件
実施主体					
事業予算	(28,500 千円)				
事業成果					
担当課	魅力創生課				

IV. (仮称) ”未来の種”

“未来の種”については、以下の通りです。

- “未来の種”は、「洲本市まち・ひと・しごと地域創生本部」で提案された意見のほか、市内部（職員）や別に開催したワークショップ等を通じて、住民などから意見・提案されたものなどを取りまとめたものです。
- 先の「アクションプラン」は、本市が2060年の将来人口目標を実現するため、その取組としてすでに実施しているものですが、“未来の種”は、現段階においては、あくまでもアイデアベースのものであり、事業主体や事業規模、事業手法などについて、不確定要素が多いことから、必ずしも実施が確定しているものではありません。
- “未来の種”は、基本的に、「人」、「カネ」、「組織」、「条件・ルール」など、事業として実行するにあたり必要となる「主要な要素」が現段階においては、十分に満たされておりません。
しかしながら、将来的にこれらの「主要な要素」が満たされれば、“種”が芽を出し、やがては「アクションプラン」の中に位置付けられる可能性もあると考えているため、引き続き、検討してまいります。

【基本戦略1】

洲本の人のあたたかさに触れ、ここに居たい、訪れたいと思う「ひと」を創り育む

① 迷いも人生～ある程度疲れた大人たちへ

アイデア	洲本市にUターンやIターンをする人の多くは、自然の豊かさや人の温かさに魅かれて移住を決断すると考えられる。進学等で一旦地元を離れた学生や、都市での生活に疲れ、「戻りたい」「癒されたい」と感じた人々を、受け入れる体制こそが重要である。「目的をもたない移住」や「過度に期待しすぎない移住」が結果的に移住成立につながることもあり、その上で、域学連携の学生等の関係人口との繋がりも重要である。関係人口への交通費補助などの支援をすることも効果的。
現状課題	

② ターゲットを絞ったツーリズム事業

アイデア	観光客や移住者などを誘致するため、戦略的に、ターゲットを絞ったツアーを提案する。例えば、健康志向の高い、都市の若者や外国人向けに、バランスの良い食事が取れる地産地消の飲食店や海岸沿いのジョギングコース等を紹介し、「健康的なライフスタイル」を提案。また、スマートフォンを活用して、摂取カロリーや消費カロリー等健康への影響を示す。その他、子育て世帯をターゲットにした、子ども連れで訪れやすいスポットや、ペット連れで入店可能なスポットの紹介なども想定できる。
現状課題	

③ 洲本市地域おこし企業人

アイデア	民間企業から地域おこし企業人を誘致し、民間人のノウハウやスキルを活かした本市の魅力的な情報の発信方を検討し、インスタグラムやフェイスブックなどSNSで積極的に発信し、市の認知度アップを図る。
現状課題	本市では、過去、本制度を活用し、近畿日本ツーリストより2名の企業人を受け入れており、活動に従事いただいた実績がある。 但し、本制度を実施するにあたっては、誘致したい企業人（民間企業）との条件交渉が整わなければ進まない。

④ (仮称) 洲本市まち・ひと・しごと人材バンク (通称: スーパースモト人)	
アイデア	<p>市内に暮らす、優れたノウハウを持つ企業の方や、特別な技能をもつ人を、洲本市まち・ひと・しごと人材バンクに登録し、その人の困りごとや特別な技能を紹介する。</p> <p>これを見て、困りごとを解決できる人や、特別な技能を必要としている人とのマッチングを行い、人のつながり、人の輪で地域課題等を解決していくプラットフォームのひとつとして、活用する。</p>
現 状 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・バンクに掲載する地元の人材(情報)の収集 ・バンクの運営組織や方法、コスト

⑤ (仮称) 洲本市地域創生チームの編成	
アイデア	<p>洲本市の地域創生を推進するため、「洲本市まち・ひと・しごと創生戦略本部」以外に、広く住民等の参画による混成チーム(コンソーシアム)を立ち上げ、意見、アイデアなど幅広い提案の種(シーズ)を生むプラットフォームとして整備し、さらに住民によるまちづくり、地方創生の取組を進める。</p>
現 状 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費等の予算 ・運営主体

⑥ (仮称) すもと大学の開校	
アイデア	<p>大学のない、本市では大学進学に伴う高校生など若年層の島外流出が大きな課題となっている。そのような中、本市では域学連携事業を通して、多くの大学生が本市を訪れ、地域住民等を巻き込んで地域活動等フィールドワークを実施している。そこで、関係する各大学をひとくりにまとめ、仮想“すもと大学”として開校し、参画している学生やその大学の講師、また、豊かなノウハウやスキルを有する地域住民等をゲスト講師として招くほか、著名なゲストを招き、地域づくりの講演等を実施したり、「すもと検定」などにも取り組み、「ひと」と「ひと」のつながり、「ひと」と「地域」とのつながりの中から、移住・定住や起業・創業などにつなげるほか、地域への愛着や帰属感を醸成する。</p>
現 状 課 題	

⑦ (仮称) 人と人がつながる淡路ネオタウン	
アイデア	<p>住まいは淡路島（洲本市）に拠点をおき、仕事は島内（市内）に限定せず、あえて、神戸や明石に出ることを前提とし、島外への通勤補助等を充実させる。</p> <p>一方で、子育てをしやすい環境づくりや市民のコミュニティを充実させることで、居住地として淡路島（洲本市）を選択してもらうことで、淡路島と神戸・明石を広域的な生活拠点とした「淡路ネオタウン構想」を推進する。</p>
現 状 課 題	

【基本戦略2】

歴史の薫る魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る

① “試住” 施設改修事業

アイデア	移住者がまずはお試して田舎暮らしや移住を気軽に体験できる施設を整え、移住のハードルをさげることで、本格的な移住・定住につなげる。
現 状 課 題	学生や住民からの発案であるが、基本計画が策定できず、また、事業予算の確保がネックとなっている。

② ターゲットを絞ったツーリズム事業（再掲）

アイデア	観光客や移住者などを誘致するため、戦略的に、ターゲットを絞ったツアーを提案する。例えば、健康志向の高い、都市の若者や外国人向けに、バランスの良い食事が取れる地産地消の飲食店や海岸沿いのジョギングコース等を紹介し、「健康的なライフスタイル」を提案する。また、スマートフォンを活用して、摂取カロリーや消費カロリー等健康への影響を示す。その他、子育て世帯をターゲットにした、子ども連れで訪れやすいスポットや、ペット連れで入店可能なスポットの紹介なども想定できる。
現 状 課 題	

③ （仮称）すもと大学の開校【再掲】

アイデア	大学のない、本市では大学進学に伴う高校生など若年層の島外流出が大きな課題となっている。そのような中、本市では域学連携事業を通して、多くの大学生が本市を訪れ、地域住民等を巻き込んで地域活動等フィールドワークを実施している。そこで、関係する各大学をひとくくりにとまとめ、仮想“すもと大学”として開校し、参画している学生やその大学の講師、また、豊かなノウハウやスキルを有する地域住民等をゲスト講師として招くほか、著名なゲストを招き、地域づくりの講演等を実施したり、「すもと検定」などにも取り組み、「ひと」と「ひと」のつながり、「ひと」と「地域」とのつながりの中から、移住・定住や起業・創業などにつなげるほか、地域への愛着や帰属感を醸成する。
現 状 課 題	

④ すもとパッケージツアー事業	
アイデア	市街地周辺には、海水浴場、史跡や歴史的建造物、洲本温泉、商店街やレトロこみちの飲食店など、観光資源がコンパクトに集約されているにも関わらず、観光客の二次交通の充実や、ツアーの提案、情報発信が不十分である。 市街地の観光地を周遊する、定額制でオープンなイメージのバスを運行させたり、ピンタレスト等のプッシュ型の情報発信機能を活用して、ツアーを提案したりする。
現 状 課 題	

⑤ すもと・サブスクリプションモビリティ事業	
アイデア	サブスクリプションサービスとは、提供されるサービスの数に対してではなく、利用期間に対し対価を支払う、いわゆる「月額制」や「定額制」のビジネスモデルのことで、動画配信サービスや飲食業界等、近年活用の幅が広がっている。 本市では、交通費の高さや交通空白地域の存在から、運転免許証を手放せない高齢者が数多くいる中、例えば、高齢者が安全に運転できる小型モビリティを月額制にして貸し出しを行ったり、コミュニティバスの運行を月額制にして利用を促進したりするなど、高齢者向けの交通網の確保にサブスクリプションサービスを取り入れる。
現 状 課 題	

【基本戦略3】

女性や若者が夢を抱いて躍動する洲本ならではの「しごと」のステージを創り広げる

①（仮称）すもと大学の開校【再掲】

アイデア	大学のない、本市では大学進学に伴う高校生など若年層の島外流出が大きな課題となっている。そのような中、本市では域学連携事業を通して、多くの大学生が本市を訪れ、地域住民等を巻き込んで地域活動等フィールドワークを実施している。そこで、関係する各大学をひとくくりまとめ、仮想“すもと大学”として開校し、参画している学生やその大学の講師、また、豊かなノウハウやスキルを有する地域住民等をゲスト講師として招くほか、著名なゲストを招き、地域づくりの講演等を実施したり、「すもと検定」などにも取り組み、「ひと」と「ひと」のつながり、「ひと」と「地域」とのつながりの中から、移住・定住や起業・創業などにつなげるほか、地域への愛着や帰属感を醸成する。
現 状 課 題	

②（仮称）島での働きかたを“チカク”する

アイデア	高い有効求人倍率が維持されている中、雇用のミスマッチにより、特に若年層の都市流出が目立っている。しかしながら、島内においてもローカルらしい仕事や都市にも負けないカッコいい仕事のスタイルを確立している人もいることから、そのリアルな情報を学生など若年層に対して、また、都市部から移住を希望する人に対して、リアルなローカル情報を上手く発信していくことで、課題の解決の一口を探る。特に、学生や若者などの Youtuber を活用した Youtube によるアプローチを図る。
現 状 課 題	

③ サッカーチーム「FC 淡路島」の支援を通じた雇用の創出	
アイデア	2019年のラグビーワールドカップの開催や2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催等、人々のスポーツへの関心が高まりを見せる中、スポーツ振興を通じた地域活性化は、重要な手法のひとつである。 淡路島を拠点に、「7年以内にJリーグ昇格」をめざし活動するFC淡路島を、市として支援し、サッカーの聖地化やグッズ販売、さらには、スタジアムの建設等をサポートすることで、市内に新たな雇用を創出することに繋がる。
現 状 課 題	

④ 起業後の継続的な経営支援事業	
アイデア	起業後、数年以内に休業や廃業に追い込まれる事業者が多い中、起業時の支援のみならず、起業後のランニングにかかる補助や、経営相談支援を行う。
現 状 課 題	